



考える子  
やさしい子  
たくましい子

# 角尾山

<https://www.city.nishiwaki.lg.jp/houtaelementaryschool/tayori/index.html>

## 性教育をとおして

小学校の6年間は、心身の発育・発達の変化の著しい時期です。また、二次性徴の現れや思春期への移行など、心身両面で子どもによって個人差がみられます。そのため、学年や一人一人の発育・発達段階を考慮しながら、以下の3つの領域について学び、心身の健全な成長をめざして性教育を行っています。

### ①生命尊重 ②人間関係の育成 ③家庭や社会の一員としてのあり方

- 1年生 お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんの様子や誕生について
- 2年生 男女の体の違いや、「命のつながり」について
- 3年生 針であけた穴ほど小さい一つの卵子と3億分の1の精子が出会う「命のはじまり」について
- 4年生 思春期にあらわれる大人への体の変化について、個人差があることについて
- 5年生 心の発達及び不安や悩みへの対処について
- 6年生 個性ある人間として互いに尊重し、自分らしく生きることの大切さについて

また、5・6年生については、2学期末に、〈児童と乳幼児のふれあい交流事業〉として助産師さんのお話を聞き、その後には、体験学習（妊婦体験・産道体験・赤ちゃん抱っこ体験）や乳幼児親子とのふれあう機会をもちました。生命誕生の神秘や、自分や周りの人の命の大切さについて考えることができる貴重な時間となりました。



### ～ 感想より ～（一部抜粋）

- お母さんと赤ちゃんはへそのおでつながっていることをはじめてしりました。赤ちゃんだけがしている通り道を通っておなかから出てくることがわかりました。もっともっとしりたいです。（1年）
- 体をかくさないとだめなのは、女の子や男の子のだいじなところがちがうんだなと思いました。（2年）
- 今日勉強してわかったことは、ぼくたちがきせきの存在だということがわかった。子どもができるってすごいことだと思った。（3年）
- 子どもと大人とではとてもちがう自分になることや女子や男子は女子だったらみんないっしょの時に丸みのある体になるんだと思っていたけど個人差があって人それぞれなんだなと知りました。（4年）
- ストレスとの付き合い方がわかりました。ぼくも、緊張することが多いので、自分のストレスと向き合いながら心を成長させたいと思います。（5年）
- 自分たちがどのように生まれてきたのかということがわかりました。初めて知ることもあって驚いたけど、すごく少ない確率で命が始まったんだということがわかりました。お父さんとお母さんにもらった命を大切にしたいし、ありがとうと伝えたいと思いました。（6年）

（性教育部）

## 2月の行事予定

- |                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| 1日（水）委員会活動       | 15日（水）紙芝居（4・5・6年）          |
| 2日（木）芳田の達人（4～6年） | 16日（木）芳田っ子ミーティング           |
| 1～3年下校 14：00     | 17日（金）南中体験入学（6年）           |
| 7日（火）里山体験（3年）    | 21日（火）里山体験（3年）             |
| 児童会役員選挙          | 新入生体験入学                    |
| 9日（木）おはようスポーツ    | 22日（水）新地区委員・役員合同会議（19：00～） |
| 10日（金）入学説明会      | お楽しみ集会                     |
| 11日（土）建国記念日      | 23日（木）天皇誕生日                |
| 参観日 ※弁当日         |                            |
| 13日（月）振替休業日      |                            |
| 14日（火）里山体験（3年）   |                            |



芳田の里ふれあい館にて、児童作品絶賛公開中！！

2月24日まで

## 【リサイクルの御礼】

1月15日(日)のPTAリサイクル活動では、地域のみなさまやPTA会員のみなさまのご協力により、たくさんのリサイクル資源を回収することができました。寒い中、本当にありがとうございました。

## ★いずみ文庫寄贈の御礼★

今年度もいずみ寮のみなさまより「いずみ文庫」に寄贈していただきました。この取り組みは、33年も前から、毎年続けてくださっています。本当にありがとうございました。

## 【3年生学級紹介】

## 見せろ！えがおの里山祭り

今年度も本校の3年生は、環境体験学習として里山活動を行い、12月には、「見せろ！えがおの里山祭り」を実施しました。子どもたちは、4月からの活動を、「里山祭りを絶対に成功させるんだ」という強い気持ちをもって活動してきました。

1学期の里山での活動は、グリーンサポーターの笹倉渉さんの指導のもと、里山探検、基地作りから始まりました。自分たちで基地を作る場所を決め、基地に使う木を探したり、運んだり、協力しながら基地作りに励みました。



天候に恵まれないこともあり、基地の完成が2学期になりましたが、最後までやり切った子どもたちの表情は、とてもすがすがしかったです。

基地の完成を喜ぶとともに、里山祭りに向けての準備が始まりました。「どんな里山祭りにするのか。」「里山祭りを成功させるためにはどうすればいいのか。」ということテーマに、何度も話し合いを重ね、「自分たちはもちろん、お客さんを楽しませるために」という思いのもと企画ゲームの決定、景品作り、進行方法等、あらゆることを準備してきました。

迎えた里山祭り当日。不安な面持ちもありましたが、元気よく年下の子たちを案内する姿や、楽しくゲームの運営をする姿が見られました。里山祭りを終えた子どもたちからは、「成功した。」「喜んでもらえてよかった。」と充実した声が聞こえてきました。

## 防災集会・防災学習

阪神・淡路大震災から28年の月日が流れました。写真では、どれだけ大きな被害だったかを知ることはできませんが、実際に経験することはできません。経験せずに済むなら、このままずっと経験しないまま生きていきたいものですが、いつどこで起こるか分からないのが災害です。自分の命は自分で守る「自助」、助け合いながら命を守る「共助」、行政と連携して命を守る「公助」という言葉が、防災を学習する際のキーワードです。このことについて、芳田小学校では、毎年1月17日に防災集会・防災学習をしています。子どもたちの学習が、ご家庭にも広がり、「もし、こんなときに大きな災害が起こったら・・・」と考える機会になってほしいと願っています。

### 《児童の感想》

- ・話し合ってたかったことは、ヘルメットやランドセルでも頭を守ることができることです。
- ・役立つグッズ第5位までに入っているものが、家の防災バッグに入っているかたしかめて、なかったら入れかえるようにしたいと思います。
- ・防災集会や防災学習で写真だけでも阪神淡路大震災のゆれと被害のすごさがわかりました。防災バッグの中の持ち物はそのままにしておくのではなく、中身を見直したほうがいいと思いました。家に帰ったら確認しようと思います。災害がおきるまえにしっかり準備をしておきたいです。



**2月 スクールカウンセラー来校日(原則13時~16時) <予定>…2/14(火)・2/28(火)**

学校でのお子さんの様子について、ご家庭でのかかわり方などについて、お悩みや疑問の解決に向けたお手伝いをさせていただきます。小さなことでも結構です。どうぞお気軽にお越しください。 永浦